

1 5 東京私立初等学校協会

行動計画記載の内容等

1 男女平等の考えを徹底し、その意識を高める。

教育活動のあらゆる場において、その意識を高める。

- ・男女混合の名簿や座席を使用するなど、常時活動の中で工夫をする。

性教育において、男女の相違や双方を尊重することの大切さを理解させる。

2 高齢者に対する理解を深め、男女の区別なく支援することの大切さを理解させる。

- ・ボランティア活動を通して老人ホーム等との交流を計画し、高齢者に対する理解を深め、支援の仕方考えることができるように支援する。

16年度の具体的取組内容	実績
<p>1 男女がともに協力し合いながら生活していく大切さを理解させる。それこそ、男女平等につながるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動のあらゆる場において、その意識を高めていく。 ・日常活動の場で、授業の場で、男女の違いを認め合い、共同することの大切さを、活動を通して理解させる。 	<p>平成 16 年度も各学校において「男女平等」への意識の目を育む努力をしてきました。</p> <p>児童は少なからず世の中の流れの中で影響を受け心が揺れ動いています。世の中の縮図そのものが学校社会の中にも現れてきています。各校ともそんな中で、それぞれの建学の理念にのっとり、様々な教育活動（校内・校外）の中で、児童一人ひとりに「心の教育」を行い、人権意識を育てる努力をしてきました。</p>
<p>2 高齢者に対する理解を深め、男女の区別なく支援することの大切さを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間等の中で、他者への愛情（高齢者等）を考える場を設ける。 ・通学途中での他者へのやさしさなど、具体的な事例を自己の行動を通して考えさせ、理解させる。 ・「特活」のボランティア活動等で高齢者との触れあいの場を設定し、高齢者に対する理解を深め高齢者に敬愛の念を抱くことができるように支援をする。 	<p>「総合的な学習」の時間に、老人ホームや高齢者の施設を訪問したり、あるいは学校に招待したりして、高齢者の方々と心のふれあいを積極的に行なう機会をつくってきました。</p> <p>特別活動の時間に、上記のような活動を積極的に行なったクラブもあります。（ボランティア部、コーラス部、太鼓部など）</p> <p>学級活動、学校活動の時間に通学のマナーなどを話し合う機会を行なうことで、他者への愛情の心を育む活動を行ないました。</p>